

横手市平鹿町浅舞字覚町後138
TEL 0182-24-3281
FAX 0182-24-3335
開館時間10:00~18:00

平鹿図書館にゆーす

システム入替による全館臨時休館のお知らせ 10月9日(月)~15日(日)

図書館システム入替のため横手市内の図書館全館臨時休館とさせていただきます。本の返却は平鹿庁舎玄関にあるブックポストへお願いします。



ご不便をおかけしますが
よろしくお願い申し上げます


秋のイベント
よるのとしょかん
おとなのための **おはなし会**

10月28日(土) 6時30分~

- おとなのためのおはなし会 by グループ木もれび
- ギター弾き語り by ごやさん

定員：20名/要申込 ☎ 24-3281
※中学生以下は保護者同伴

大人だっておはなし会に参加してみたい！絵本を読んでもらう時間が心地よいのは子どもだけではありません。秋の夜長に、ゆったりと絵本に耳をかたむけてみませんか。素敵な音楽も聴きながら夜の図書館でお過ごしください。



10月
28・29・30日

ハロウィン

図書館で本を借りるときに、『トリック・オア・トリート (Trick or Treat)』と言ってね。（「おかしをくれなきゃいたずらするぞ!」という意味です）
いいことがあるよ!!

**としょかん
スタンプラリー**

開催中!

横手市内の図書館・図書室で本を借りてスタンプを集めよう！
ゴールするとちょっとしたプレゼントがあります♪

11月12日まで




企画展示

いまこそ、日本酒!

発酵学の第一人者、小泉武夫先生の「日本酒 その粋な世界」をテーマにした講演会が10月7日に浅舞地区交流センター 多目的ホールにて開催されます。平鹿図書館では、食文化として発展してきた日本酒や漬物など発酵に関する資料を集めており、10月4日から「いまこそ、日本酒!」を展示します。

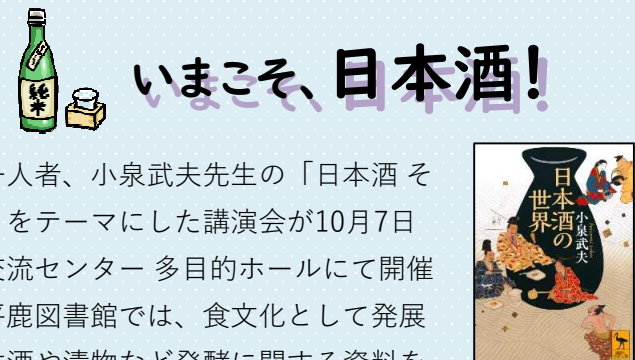

展示期間：10月4日~11月30日

『日本酒の世界』
小泉 武夫/著

科学道 100冊
「知りたい!」が未来をつくる

「科学道100冊」は、書籍を通じて科学の面白さ・素晴らしさを届ける事業です。2017年から始まった科学道プロジェクト。これまでの科学道のリストも館内に設置していますので、ぜひご覧ください。

展示期間：10月末まで

**9・10月
休館日**

毎週火曜日/毎月月初めの平日(図書整理日)
9月26日
10月3日・9日~15日・17日・24日・31日
=休館日の本の返却はブックポストへ=

**“調べもの”
お手伝いします**
お気軽にカウンターまで!



としょかんおはなしかい
“いちにちじゅう”おはなし

絵本を読んでほしい人
に、いつでも読めます♪
気軽にお声がけください。



10月21日(土)

X (旧Twitter)
はじめました!



@YokoteCity_lib
ハッシュタグ
#よことしょ



図書館からの情報を随
時発信しています。ぜひ
フォローお願いします。



新しい本のご案内

*ご案内の本は一部です

貸出中の本は予約ができます

◆ 小説・エッセイ



蒼天の鳥

三上 幸四郎/著
講談社

逆転正義

下村 敦史/著

夫妻集

小野寺 史宜/著

首都襲撃

高嶋 哲夫/著

◆ 一般書



いつものラジオ

村上 謙三久/著
本の雑誌社

視力長生きはメンタルが9割

和田 秀樹/著

道具のブツリ

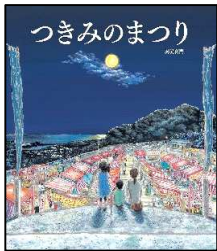
田中 幸文/文、結城 千代子/文

美しい合気道

白川 竜次/著

東北のおいしい道の駅&SA・PA 2023

◆ 絵本



つきみのまつり

羽尻 利門/作
世界文化社

じっとみるの

たちばな はるか/作
岩崎書店



◆ 読みもの



人間になりたかった犬

今西 乃子/作
福田 岩緒/絵
新日本出版社

ねこぜ山どうぶつ園

角野 栄子/作

ねこねこがっこう

荻田 澄子/作

このすばらしきスナークの国

E.A.ワイク=スミス/原作

◆ 図書館員のおすすめ 今月の1冊 児童書 ◆



『子どもコンプライアンス』

山本 一宗/著、どんぐり。/イラスト
ワニブックス

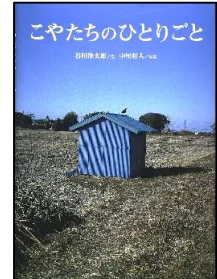
知りたいことや疑問をもつことの大切さ、それらを調べるときに気をつけることや心構えが学べます。ネットに情報が溢れている今、正しい情報を収集し判断できるよう丁寧に教えてくれます。



『どんでんうまくなるけん玉スタートブック』

日本けん玉協会/監修
幻冬舎

けん玉初心者さんに向けて、基本技から応用技まで44の技が載っています。つまずきやすい所やコツがポイントとしてまとめられています。読み終わる頃にはけん玉をマスターできるかも?!



『こやたちのひとりごと』

谷川 俊太郎/文、中里 和人/写真
アリス館

その辺に何気なく建っている小屋が、谷川俊太郎さんの文により擬人化され、中里和人さんの写真により表情まで見えるようです。今まで気にもとめなかった小屋をつい暖かい目で見ちゃいそう。